

2015 年度短期集中夏季英語セミナー 実施報告

(スーパーグローバル大学等事業「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援」)

神戸大学大学教育推進機構国際コミュニケーションセンター

文責：補佐員 中山 靖子

1. 短期集中夏季英語セミナーの概要

国際コミュニケーションセンター (SOLAC) では、文部科学省「スーパーグローバル大学等事業「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援」の一環として、平成 27 年 9 月 1 日から 9 月 10 日まで、短期集中夏季英語セミナーを開催した。実施したセミナーは、「TOEFL® 短期集中セミナー」「Academic Speaking 短期集中セミナー」である。

各セミナーの目的は、以下の通りである。

TOEFL® 短期集中セミナー	留学の際に必要な TOEFL® のスコアアップを目指すセミナー
Academic Speaking 短期集中セミナー	ディスカッションをするための練習の場としてのセミナー

また、本セミナーの対象・クラスサイズ・使用言語は、以下の通りである。

対象者	グローバル英語コース (GEC) の学生を中心として、神戸大学の学部学生・大学院生
クラスサイズ	原則として、1 クラスにつき 10 名～15 名の少人数制
使用言語	英語

2. セミナーの実施内容

開講された各セミナーの名称・講師・日程は、以下の通りである。なお、Course Description 等の詳細は、5. 参考資料を参照されたい。

2.1 TOEFL® 短期集中セミナー

- (1) <セミナー名> TOEFL® for Beginners
<講師> David Kolf
<日程> 9 月 1 日(火)～4 日(金) 1, 2 限 (計 8 コマ)
- (2) <セミナー名> TOEFL® for Intermediate Learners
<講師> David Kolf
<日程> 9 月 7 日(月)～10 日(木) 1, 2 限 (計 8 コマ)

2.2 Academic Speaking 短期集中セミナー

- (1) <セミナー名> English Speaking Intensive Course
<講師> Ellen Rettig-Miki
<午前> 9 月 1 日(火)～3 日(木) 1, 2 限 (計 6 コマ)
- (2) <セミナー名> English Speaking Intensive Course
<講師> Ellen Rettig-Miki
<午後> 9 月 1 日(火)～3 日(木) 3, 4 限 (計 6 コマ)

3. 実施実績

3.1 TOEFL® 短期集中セミナー

本セミナーでは、学習方法や有益なウェブサイトも紹介しつつ、TOEFL® の全セクションにわたって、Integrated task として学習することで、4 技能 (writing, reading, listening, speaking) のスキルを

高める練習をした。ライティングに関しては、希望者が自宅で作成した文書を講師に提出、個別にフィードバックとしてアドバイスをするスタイルをとった。中級クラスの受講者は、ライティング・フィードバックを希望する者が多く、初級クラスの受講者は、リスニングやスピーキングを集中して学習することを希望する者が多い傾向が見られた。

3.2 Academic Speaking 短期集中セミナー

本セミナーでは、Academic Speaking の基本表現を学習し、ペアワーク、小グループワークで Discussion を体験した。また、ショートプレゼンテーションを練習することで、さまざまなスタイルのスピーキングスキルを学習した。

3.3 受講者情報

各セミナーの受講者数は、以下の通りである。

セミナー／コース名	講師	受講者数	応募者数
【TOEFL [®] 短期集中セミナー】			
TOEFL [®] for Beginners	David Kolf	19	22
TOEFL [®] for Intermediate Learners	David Kolf	11	15
【Academic Speaking 短期集中セミナー】			
English Speaking <午前>	Ellen Rettig-Miki	9	12
English Speaking <午後>	Ellen Rettig-Miki	9	11
計		48	60

以下に学部・学年別受講者の内訳を示す（受講者のべ総数：48名）。

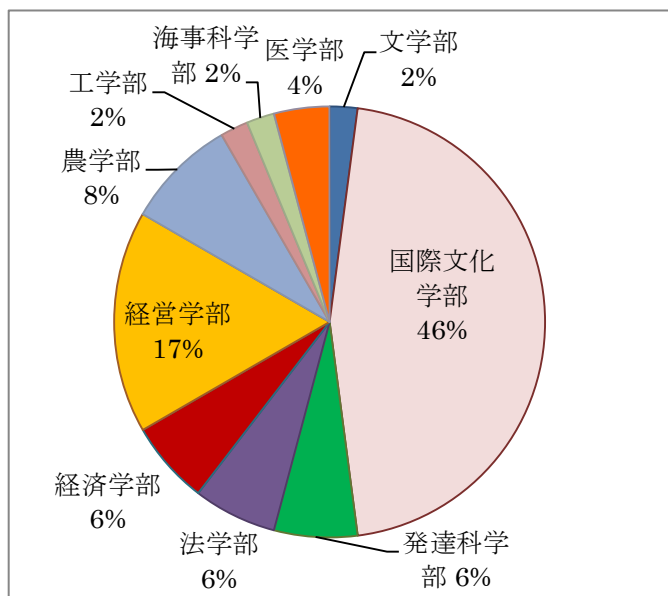
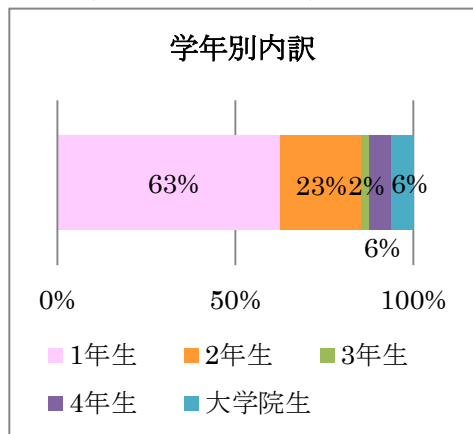
	小計	1年		2年		3年		4年	大学院
		学年	(GEC生)	学年	(GEC生)	学年	(GEC生)	学年	学年
文学部	1	1	1						
国際文化学部	22	14	9	6	5				2
発達科学部	3	1		2					
法学部	3	2	2	1	1				
経済学部	3	2	1	1					
経営学部	8	5	3			1		2	
農学部	4	3						1	
工学部	1	1							
海事科学部	1			1					
医学部	2	1							1
受講者数	48	30	16	11	6	1	0	3	3

注：空欄は受講者が0であったことを示す。

短期集中春季英語セミナーは、グローバル英語コース（GEC）の学生を主たる対象としたものであるが、この取組みは全学的な取組みへと展開することを目指したものであるため、取組学部（文学部、国際文化学部、発達科学部、法学部、経済学部、経営学部）の学生の受講を優先し、定員の範囲内で取組学部以外の学生の受講も認めた。今セミナーでの受講者比率は、取組学部が8割強に対し、取組学部以外が2割弱であった。取組学部の中では国際文化学部の学生の受講がもっとも多く、全体の46%であった。学年別では、1年生がもっとも多く、全体の約63%、次に2年生が23%であった。

GEC生の受講は、全体の46%を占め、2期生が6人、後期からプログラムが始まる3期生の受講は16人であった。例年、GEC生の中でも短期海外研修に参加しないGEMクラス生が多く受講するが、今セミナーでは、短期海外研修に参加する（あるいは、参加した）PSAクラス生の参加が増加し、PSA生とGEM生の比率は50：50であった。特に、国際文化学部生の1年生9名は、全員がPSA生であった。

以下に、応募者の学年別、学部別のグラフを示す。



4. 受講者へのアンケート結果報告

今後のセミナーの改善を図るための参考にするため、各セミナー終了後、セミナーに対する感想や意見を記入してもらったアンケートを実施した。

アンケート集計結果（回答件数：37件）

Q1: 少人数制のセミナーを受講して、セミナーの前よりも、英語（留学）に対する学習意欲がわきましたか？		
はい、やる気ができました。	30件	81%
少しはやる気が出ました。	6件	16%
あまり変わりませんでした。	1件	3%

	TOEFL® Beginners		TOEFL® Intermediates		Speaking <午前>		Speaking <午後>		Total	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
少人数であった点	4	27%	5	83%	7	88%	5	63%	21	57%
授業がすべて英語だった点	11	73%	2	33%	8	100%	8	100%	29	78%
他受講者と意見交換ができた点	2	13%			6	75%	5	63%	12	32%
論理的な文章の書き方が具体的に理解できた点			3	50%	1	13%	1	13%	5	14%
英語を話す機会が多かった点	4	27%	2	33%	7	88%	6	75%	19	51%
英語を聞く機会が多かった点	8	53%	2	33%	4	50%	4	50%	18	49%
その他	2	13%			1	13%				

- ・すべて英語で行われる授業は初めてでしたが、英語を聞きとるだけでなく、話すということの難しさを知ることができました。同じ目的を持った人たちのポテンシャルに刺激をうけ、ますますやる気ができました。
- ・夏休みのだらけた頭をリセットできた。

Q: セミナーで物足りなかったと思う点があれば、具体的に教えてください	
TOEFL® for Beginners	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと話す機会がほしかった。問題ごとの説明をもっと初めにしてほしかった、授業の段取りを決めてほしかった。 ・生徒に意見をきく回数がもう少し多くてもよかったと思う。 ・時間帯がしんどかった。 ・レベルが合わなかった、先生の話すスピードがゆっくりだった（注：本来 Intermediate クラス希望者）。 ・全セクションをするには日数が足りなかったと思う。
TOEFL® for Intermediate Learners	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者がもう少し多い方が良い。 ・Speaking セクションを集中して学習したい。 ・Writing セクションを集中して学習したい。 ・Listening セクションを集中して学習したい。
Speaking	<ul style="list-style-type: none"> ・レベルが低かった（注：大学院生）。 ・3日間だけでは、期間が短かった。
Q: 「こんなセミナーがあったらいいなあ」と思うセミナーがあれば教えてください	
TOEFL® for Beginners	<ul style="list-style-type: none"> ・2~4人編成のクラスで、先生と話を楽しめるようなセミナー。 ・とにかく楽しく、歌ったり、ゲームなどもしつつ英語に親しみながら学べる、英会話セミナー（他1名）。 ・TOEFL® セミナーの日数を増やすか、Listening に特化したセミナー。 ・留学生も交えたセミナー。 ・IELTS 対策セミナー。
TOEFL® for Intermediate Learners	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEFL® のセクションごとに特化したセミナー ・断続的にこうした内容を受けられるセミナー
Speaking	<ul style="list-style-type: none"> ・3回生以上の人で英語に触れたいと思う人のセミナー（英語を楽しく聞いて話す機会があればよいです）。 ・英語を話す機会が多くあるセミナー ・とにかく楽しく英語を外国人と話すセミナー ・ビジネス英語の合宿セミナーのような1週間程度で英語漬けになれるセミナー ・留学生も加えてのディスカッションセミナー（他1名） ・日常英会話（税関、ホテル、レストランで etc.）セミナー（他1名） ・マンツーマンでアカデミックイングリッシュを自分の研究テーマに沿う形でみてもらえるセミナー ・英語の文法や単語を今一度確認するセミナー ・学期中に名谷キャンパスでもセミナーができるようになってほしい ・もっとディスカッションづくりのセミナー ・文法専門のセミナー ・外国人の生徒と交流する機会のあるセミナー(他1名) ・英語のリーダーシップセミナー

アンケート結果からも明らかなように、多くの受講生が、今回のセミナーが英語で行われたことに満足しており、英語学習に対する意欲が湧いたと回答した。「TOEFL®セミナー」は、多くの受講生が、集中して学習したいセクションがあるとことが明らかになった。Academic Speaking と比べて、最終受講率が低いのは、集中して学習したい内容が個別に違うことに一因があるかもしれない。また、総じて、多くの受講生が Speaking をより体験したいという希望をもっていることを受けて、急きよ

講師の判断で、中級クラスにて、「TOEFL 学習方法についての情報交換」と題するディスカッションを行い、スピーキング体験の時間を増やした。

「Academic Speaking セミナー」では、受講生から担当講師へのフィードバックとして、「Speaking に自信がついた」「間違えることを恐れなくて良いということがわかった」「達成感を感じることができた」「Student Forum 参加予定なので、とても有効的でした」という具体的な成果を感じたコメントが多くみられた。このことから本セミナーが、実践的かつ受講者のニーズに合致した学習内容であったことが窺える。その一方で、「もう少し大人数でディスカッションやトークをしたい」というコメントもあったことから、今後のセミナーの企画の参考としたい。

いずれにせよ、担当講師が、受講者の意向を踏まえた上で、熱心に指導したことが、受講生の今セミナーに対する満足度や、今後の学習意欲につながっていると言える。また、今回、1, 2 年生の受講者が例年に比べて多く、全受講者の 86%であった。中には、今年度の GEC 生の選抜に漏れた者もあり、学習意欲を持ち続けることで、その悔しさを払拭したいという意気込みがあったようである。グローバル英語コース (GEC) の認識と共に、当セミナーへの認識も高まったのではないかと思われる。

本セミナーは単位取得できるセミナーではないため、最終的な受講率が低くなるのが問題となることがあるが、今セミナーでは、多くの受講者が学習意欲を保ち、学部・学科の枠を超えて、さまざまな価値観に触れながら、最終日まで熱心に受講していた。のべ受講者数の約 3 割の人が、すでに短期あるいは長期海外滞在経験者であるが、全体の約 7 割強の人がさらに近い将来、短期あるいは長期留学、または海外での活動を希望している。今後とも、受講者の自主学習の後押しになるセミナーを企画し、コミュニケーション能力をさらに高めるきっかけになることを望みたい。

5. 参考資料

5.1 TOEFL® 短期集中セミナー

■TOEFL® Intensive Seminar

D503 教室

TOEFL® for Beginners

Instructor: David Kolf (Seido Institute Cultural Programs Chair)

Course Description: Advice will be given on how students can prepare on their own: useful websites and resources will be presented as well as strategies regarding time allotment and self-study.

Schedule

September 1st	8:50-10:20	Introduction & Writing section
	10:40-12:10	
September 2nd	8:50-10:20	Reading section
	10:40-12:10	
September 3rd	8:50-10:20	Listening section
	10:40-12:10	
September 4th	8:50-10:20	Speaking section
	10:40-12:10	

The first day familiarizes students with the test format and then looks closely at a typical writing section, because this illustrates the kind of argumentation that the testers expect for other sections. Knowing how information is organized is a necessity for the speaking section, and it facilitates understanding of listening and reading passages.

Class size is small, so students can receive feedback on their writing and speaking. All of the classes have a variety of activities. The pace will be slightly slower than next week's Intermediate group, with perhaps some explanation in Japanese.

TOEFL® for Intermediate Learners

Instructor: David Kolf (Seido Institute Cultural Programs Chair)

Course Description: Advice will be given on how students can prepare on their own: useful websites and resources will be presented as well as strategies regarding time allotment and self-study.

Schedule

September 7th	8:50-10:20	Introduction & Writing section
	10:40-12:10	
September 8 th	8:50-10:20	Reading section
	10:40-12:10	
September 9th	8:50-10:20	Listening section
	10:40-12:10	
September 10th	8:50-10:20	Speaking section
	10:40-12:10	

The first day familiarizes students with the test format and then looks closely at a typical writing section, because this illustrates the kind of argumentation that the testers expect for other sections. Knowing how information is organized is a necessity for the speaking section, and it facilitates understanding of listening and reading passages.

Class size is small, so students can receive feedback on their writing and speaking. All of the classes have a variety of activities. The pace will be slightly faster than last week's Beginner group. Some time may be spent on IELTS, if students are also taking that test.

2.2 Academic Speaking 短期集中セミナー

English Speaking intensive seminar

Instructor: Ellen Rettig-Miki

Course Description: This seminar is designed to give students exposure to and practice in using English for academic purposes, working students who already have some skill in English use. The course is taught entirely in English, giving students chances to practice using English in ways that they would need for academic contexts: this included areas such as introducing, explaining, presenting, discussing, and persuading. The level of this course is designed to offer a chance to practice English in a way authentic to real-life academic needs.

Schedule

	session①	session②	
September 1st	8:50-10:20	13:20-14:50	Students practice one-on one, in presentations, and in small-group discussions, learning to use skills necessary in academic speaking to <ul style="list-style-type: none"> ➤ Analyze ➤ Introduce ➤ Question and Confirm ➤ Inform/Convey Information ➤ Narrate ➤ Teach ➤ Select ➤ Gather Information and Explain ➤ State a Position and Support/Persuade ➤ Respond and Discuss
	10:40-12:10	15:10-16:40	
September 2nd	8:50-10:20	13:20-14:50	
	10:40-12:10	15:10-16:40	
September 3rd	8:50-10:20	13:20-14:50	
	10:40-12:10	15:10-16:40	

The schedule and content may be subject to some minor changes.